

全国 BTS探訪 相生

第16回

編

(兵庫県)

先月号の姫路に引き続き今回も兵庫県のポートレースチケットショップへ。兵庫のBTSとしては最も西に位置するBTS相生を訪ねた。日本の重工業を代表する企業のひとつIHI（旧石川島播磨重工業）の前身、播磨造船所が創業されたのがこの相生。現在は牡蠣の養殖が盛んで、瀬戸内に面した風光明媚な場所だった。

館内は清潔でコンパクト！

兵庫県には山陽新幹線の駅が神戸、西明石、姫路、相生と4駅ある。そのうち一番西側にあるのが相生で、BTS相生は相生駅から車で5分ほど（バスで8分、徒歩22分程度）の場所にある。

国道2号沿いなので分かりやすいが、相生駅側（東側）から来る際にはいったん通り過ぎて交差点をUターンまたは右折してから駐車場に入ることになるので気をつけたい。

相生パーロン海館



施設は19年11月にオープン。近畿地区では一番新しいBTSなので清潔感がありとてもキレイだ。開場時間は午前8時10分。モーニングから楽しめるのはBTSとしては貴重と言える。

入口を入ると右側は指定席。終日千円で利用可能で、ひとつひとつの座席が独立しておりゆったりと過ごせる。先に19年11月オープンと書いたが、そう、オープンしただけでコロナ禍という厳しい現実と向き合うことになってしまったのが当該施設。指定席が1席、1席独立しているのはポストコロ

指定席は独立シート



全国BTS探訪

○移動時間の目安



あいおい BTS相生

ボートレースチケットショップ相生

兵庫県相生市竜泉町242-10

窓口数 6窓 / 駐車場 132台



8時10分オープンなのでモーニングから楽しめる。指定席は全21席。席間には十分なスペースがありくつろげる。一般席にも64席ものイスがあるのはうれしい。

名物珍味「うまいか」



水産物市場の海鮮丼

ボートレースが盛んな地!?

相生市は毎年5月の最終土日に行われるペーロン祭でも知られている。ペーロンというのは中国由来の手漕ぎの細長い舟のことで、ドラゴンボートとも呼ばれる。相生では長崎から伝わったその舟に

ナ時代の施設のあり方を垣間見た気がする。比較的小ぢんまりとした施設だが一般席には座席が十分にあり、長時間でも過ごしやすい。常連同士がコミュニケーションを取り合う姿が見られた。ところで訪れた日には、18時以降にアイスを配布するというイベントが行われていた。アットホームなサービスが実に似合うBTSと言えるだろう。

「道の駅あいおい白龍城（ペーロンじょう）」。水産物市場からは車で5分もかからず行ける。名産の牡蠣を使った牡蠣醤油などが人気

よる競漕が大正時代くらいから伝統的に行われていて、現在では花火大会なども同時に開催し盛大な祭りとなっている。実際のペーロンは「相生ペーロン海館」で見ることが出来る。実際に見るとかなり大きな舟だったので、競漕の様子もビデオで見られるので、ボートレースファンとしては行ってみたい(笑)。ペーロン海館の横には「相生市立水産物市場」があり、お土産に海産物を買うことはもちろん、その場でバーベキューを楽しむことができる。イトインスパースでは食事もでき、具材が井からはみ出す海鮮丼(1100円)が人気。海産物以外のお土産を買うなら

だ。お酒のおつまみとして関西ではおなじみの「うまいか」(ソフトな食感のすめフライ)を作る湊水産の本社、工場があるのも相生。道の駅から相生駅に向かう途中には湊水産の工場直売所があり、ここでしか買えないお買い得品もあった。高台にある「万葉の岬」からは、180度広がる瀬戸内海の眺望が楽しめる。相生はゆったりとした気分させてくれる土地だった。

相生市水産物市場

